

第3期八雲町総合計画策定支援業務 公募型プロポーザル講評

第3期八雲町総合計画の策定にあたり、本町の現状や課題を踏まえた持続可能なまちづくりの指針を示すため、専門的知見と経験を有する事業者の選定を目的として公募型プロポーザルを実施したものです。

公募の結果、3者から提案があり、いずれも限られた期間の中で本町の現状や地域特性の把握に努め、基礎調査や計画策定の考え方、住民意向の反映手法などについて工夫が見られる内容でした。

審査にあたっては、基礎調査・分析の的確性、計画内容の実現可能性、住民意向の反映手法、業務遂行体制等を総合的に評価しました。

その結果、最優秀者の提案は、人口減少や財政制約といった現実を踏まえ、「何を守り、何を伸ばすか」という視点を明確にし、選択と集中による重点施策の整理や、具体的な計画策定プロセスを示している点が高く評価されました。

また、地域ごとの特性を踏まえた将来像の整理や課題の可視化、アンケートや懇談会等を通じた多様な主体の参画により、住民意見を丁寧に反映する仕組みが具体的に示されており、実効性の高い提案となっていました。

さらに、成果指標や進行管理の考え方を含め、計画策定後も見直し・改善を行う「動く計画」としての提案がなされている点も評価され、本業務を円滑かつ確実に実施できる体制及び実績とあわせ、総合的に最も優れたものと判断しました。

他の提案についても、多角的な視点から検討された有意義な内容が見られ、いずれも高い水準にありましたが、総合的評価の結果、上記のとおり選定するに至りました。

最後に、本プロポーザルに参加いただいた事業者の皆様に感謝を申し上げます。

令和8年6月16日

第3期八雲町総合計画策定支援業務プロポーザル審査会
審査委員長 八雲町 副町長 竹内 友身
(代理) 八雲町 教育長 西田 浩人